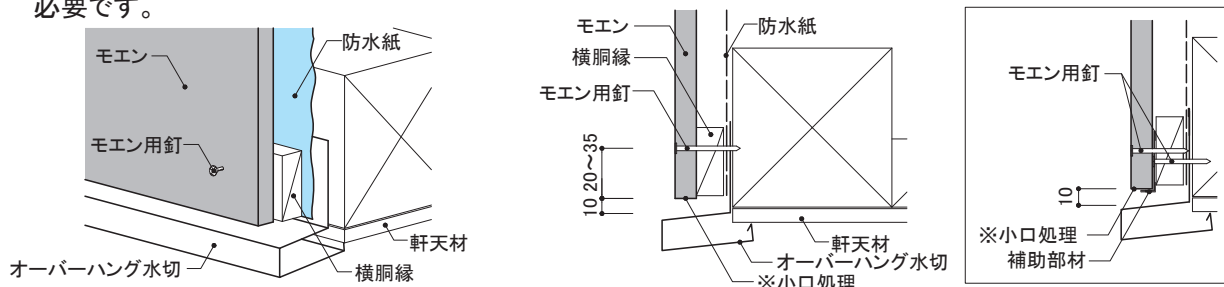


14mm厚品 (M) (W)	1.5尺×10尺 3尺×10尺	下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組 横胴縁 @500mm以下
		木造軸組下地	釘	縦	

## 11) オーバーハング部

## ① オーバーハング水切

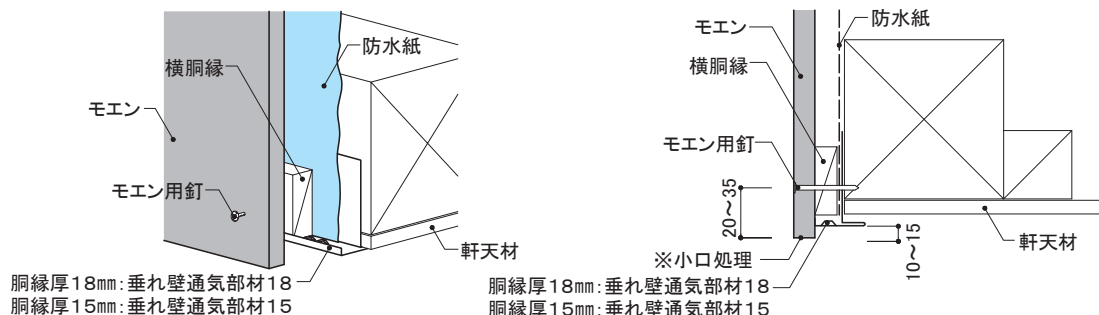
- 防水紙はオーバーハング水切の上にかぶせて施工します。
  - モエン下端に10mmの隙間を設けます。
  - モエンはモエン用釘(ステンスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
- ※縦張り釘打ち用補助部材を使用する場合は、モエン用釘を用いて250mm以下の間隔で取り付けます。  
また、補助部材はモエンの荷重を長期的に負担する設計ではないので、モエンの下端は所定の釘打ちが必要です。



## 11) オーバーハング部

## ② 垂れ壁通気部材

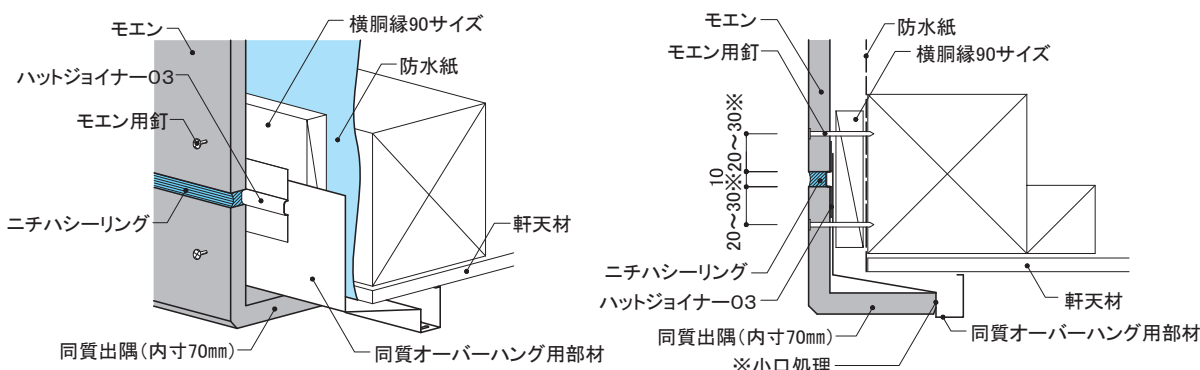
- 横胴縁の厚みが18mmの場合は「垂れ壁通気部材18」を、横胴縁の厚みが15mmの場合は「垂れ壁通気部材15」を使用します。
- 防水紙は垂れ壁通気部材の上にかぶせて施工します。
- モエンはモエン用釘(ステンスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。



## 11) オーバーハング部

## ③ 同質出隅

- 同質出隅仕様にする場合は、必ず同質オーバーハング用部材を使用します。同質オーバーハング用部材は、内寸70mmの同質出隅専用部材です。その他の内寸を使用する場合は、水平方向の内寸を70mmに切断し、切断面を小口処理します。
  - モエン本体、同質出隅はモエン用釘(ステンスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。
  - 同質出隅との取り合い部には、ハットジョイナー03を取り付けます。
- ※横胴縁の端あきが10mm以上になるように釘打ちします。  
●マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



**小口処理** モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

**釘頭** 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。